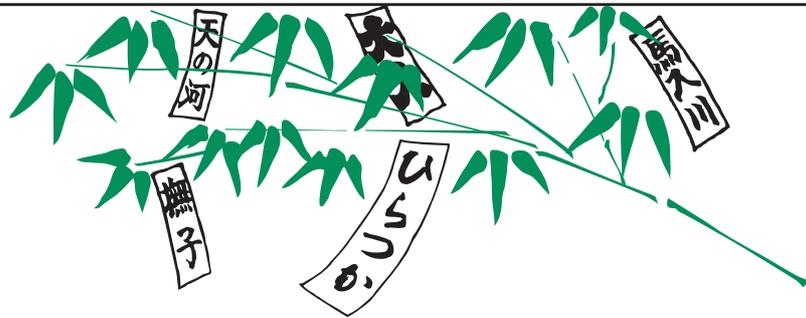




2012～2013年度 国際ロータリーテーマ
Peace through Service
「奉仕を通じて平和を」



HIRATSUKA R.C. WEEKLY

- 会長 小飯塚立雄 ● 副会長 鳥海衡一 ● 幹事 清水雅広 ● 会報委員長 関口幸恵 (2012～2013年度) E-mail: hiraturc@ma.scn-net.ne.jp
- 例会日 毎週木曜日 12:30～13:30 ● 会場 グランドホテル神奈中 平塚2F ● 事務局 平塚市松風町2-10 平塚商工会議所内
- 四つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

第2895回

2013年5月30日

グランドホテル神奈中

週報第2895

本日の卓話者ご紹介

ロータリーの友 編集長
ふたがみのりこ
二神典子様



卓話

公共イメージと認知度の向上

RPIC 二神典子

国際ロータリー（RI）戦略計画の優先項目は、「クラブサポートの強化」「人道的奉仕の重点化」「公共イメージと認知度の向上」の3つです。公共イメージは、この戦略計画から出てきた言葉です。

「公共イメージと認知度の向上」の目標として、挙げられているのが、

- イメージとブランド認知を調和させる
- 行動を主体とした奉仕を推進する
- 中核となる価値観を強調する
- 職業奉仕を強調する
- クラブにおけるネットワークづくりの機会ならびにクラブ独自の主な行動について周知を図るよう奨励する

という5つです。

これらの目標のうち、RIで今、特に進めているのが、「イメージとブランドの認知を調和させる」ということでしょうか。ロータリーの歯車の徽章を見たら、誰もがロータリーという名前を連想して、そのロータリーがど

のような組織なのか、何をしているのかがわかるようにしましょう、つまりブランディングということです。

ところで、ロータリアンでない人たちは、自分が接する数少ないロータリアンによって、ロータリーのイメージをつくり上げる可能性がありますから、すべてのロータリアンが、職業奉仕を心がけ、自分の行動に気を配らなければいけません。

また、いわゆる「汗を流す奉仕」も大切ではありますが、汗を流して奉仕活動をすればいいということではなく、地域社会のニーズや、国際社会のニーズをニーズに合った活動をしなければいけません。そのためには、ロータリアン一人ひとりが、日ごろから地域社会にネットワークを広げ、いろいろな人たちとのコミュニケーションを心がけ、あらゆる機会をとらえて、地域社会のニーズを拾い上げることが、とても大事なことだと思います。

ロータリーに何らかの良いイメージを持ってもらうには、まずは「行動」「活動」です。そして、それらの個別の行動や活動が「ロータリー」という名前に結びつくためには、ロータリアン一人ひとりが情報を発信すること。さらには、それら別々に発信された情報が、「ロータリー」というキーワードでくくれるようにすること、これがブランディングです。

その際に大きな武器となるのが、「ロータリーの歯車の徽章」です。ですから、ロータリーの会合に行くときだけでなく、いつもロータリーのバッジを身に着けていただきたいものだと思います。

私たちはロータリーについて説明するために、いろいろな情報入手し、適切に説明をできなければいけません。加えて、私たちがロータリーで経験した感動的な体験について話すことも大切なことです。

これからも積極的に活動し、ロータリーの感動的な体験を積み重ね、その体験を多くの人たちと分かち合ってください。それがロータリーの公共イメージの向上につながります。

<出席報告>

本日	5月30日	会員数	64名	対象者	58名	出席者	45(41)名	出席率	72.58%			
前々回	5月22日	会員数	64名	対象者	58名	出席者	64(58)名	出席率	100.00%	MUP	0名	計 64名 修正率100.00%

